

NPO法人北海道歩くスキー協会

# 令和5年度前期・後期

令和5年6月18日～R. 6年5月6日予定



# 《令和5年度環境保護講座》

- 1、日時 : **令和5年12月2日** (日) 午前10時～12時
- 2、場所 : 市民活動プラザ星園2階 会議室
- 3、参加人員 : **19名**
- 4、タイトル・講師 :

## 【地域が主導すべき自然エネルギー利用】

講師: 所属: 北海道大学大学院工学研究院助教

NPO法人北海道地域・自治体間問題研究所

札幌市環境保全アドバイザー

**山形定 先生**

## 5、内容 :

- 当協会池内事務局長から山形先生の紹介後、配布された資料に基づきスライドを使用した詳しい説明がありました。丁度、11月30日から198ヶ国・地域が参加しアラブ首長国連邦のドバイで、国連の気候変動枠組み条約**第28回締約国会議(COP28)**が開幕し、化石燃料の段階的廃止などが議論されています。

また、新聞ほかマスコミではカーボンニュートラル・グリーントラストインフォメーション(GX)・カーボンプライシング・グローバルストックテイク(GST)など、耳慣れない新しい地球温暖化に関連する報道がされており、**社会全体の各分野で関心が高まっていること**を実感しています。

●今回の講座では、より身近な道内の自然エネルギー開発の事例や地域住民の役割など次の3項目を取り上げて説明していただきました。

### ① 自然エネルギー開発に伴う問題点

- ・太陽光発電:2012年のFIT(再生可能エネルギー電力固定価格買取制度)導入後に進んだのは、収益性を求めて広大な土地を太陽光パネルで敷き詰めるやり方により、森林や湿原が消失する、景観が損なわれる、傾斜地で土砂災害が発生するなどの問題が起きている。
- ・風力発電:FIT導入により各地で大型の風力発電開発が進んだことによる騒音・低周波など近隣住民の生活環境への悪影響の懸念から反対運動が起きている。



- ・木質バイオマス発電: FIT導入後に大型発電所が各地に建設されたことにより、発電用木質バイオマス確保のために森林伐採が激増し、土砂流失が起きたり、他の 林産業への影響も発生している。

## ②エネルギー需給の必要性と地域主導の大切さ

- ・私たちが最初にすべきことは、どのようなエネルギーをどれだけ利用しているかを把握することである。
- ・家庭だけでなく地域全体でどのようなエネルギーが使われているかを把握し、どの部分を何に転換するかを一つずつ考えていくことが必要となる。
- ・自然エネルギーへの転換で大事なことは、「地域の、地域による、地域のための自然エネルギー」開発である。地域住民が自然エネルギー開発に参加し、行政や地元事業者を含めたネットワークがさまざまな利害を調整しながら、地域の自然エネルギー資源を開発していかなければなりません。

## ③北海道で進む自然エネルギー利用

- ・第一次産業では、さまざまな有機物(バイオマス)が生産されていますが、その中でエネルギーとして利用することが確立しているものの代表は、木質バイオマスや家畜糞尿から可燃性ガスを取り出すバイオマスです。

➤ **木質バイオマス**は各地で熱源燃料として使われており、特に大型施設では自動運転が可能な木質チップが経済性から選ばれている。

➤ **バイオマス**は微生物の働きで有機物(家畜糞尿など)から発生させたメタンガスを燃料利用するもので、都市で発生する有機物(残飯・屎尿など)からもメタンガス回収は可能です。

・農業用水を利用した小水力発電は道内でも取り組み例が出てきており、今後の普及が期待されている。

・いずれの自然エネルギー開発においても大事なことは、地域主導で地域にある自然エネルギー資源を、利害調整しながら地域で利用するため開発することである。

●前回の講座で、気候変動のメカニズムと対策としての自然エネルギーの必要性を理解しましたが、**今回は自然エネルギー開発にも問題点があることや推進するには地域住民の理解が最も重要であると考えさせられました**。自然エネルギー開発に関連したカネによる支配・利権の構図＝**「今だけ、カネだけ、自分だけ」**でないか、今後注意深く見ていく必要があると考えています。講座全体を通して感じたことは、エネルギーの**地産地消(地域の、地域による、地域のための自然エネルギー開発)**を確立していくことが、理想的な将来像であると痛感しました。





受付係・・・募集定員20名に対して参加者19名・・・



**講師：挨拶する山形定先生と司会池内事務局長**



# 山形先生の説明



## 屋根に設置された太陽光発電パネル

- 自宅の屋根に設置した太陽光パネルで自宅で消費する電力を賄う
- 足りない電力はこれまで通り買い、余った電力は電力会社に売る
- 完全に電力会社との縁を切って自分で貯めた電力だけ使うこと（オフグリッド\*）も可能



仙台、NEPA自然エネルギー実践講座 2013 「太陽光発電」資料より



\*オフグリッドとはグリッド  
[電力網] からオフ [離れた]  
という意味で、家などが電線で  
つながっていない状態を言う。

屋根に設置した太陽光パネルで自宅で消費する電力を賄う・余った電力は電力会社に売る、又足りない電力は買う、そしてオフグリッドも可能



# 自然エネルギーでも問題起こり得る

脱化石燃料・脱原発のためには自然エネルギー利用は不可欠  
何らの規制なしに自然エネルギーを開発すればさまざまな問題（自然破壊、健康被害、景観破壊・・・）が発生する。



# 各地で風力発電に対する反対の声



写真はイメージです。(北栄町付近から撮影した写真に配置後討団を参考に風車を合成して作成)

巨大  
風車

建ってしまってからでは遅いのです。



巨大 私たちの町に  
風力発電は必要でしょうか？

当別町議会は風力発電事業中止の陳情書と請願書を全会一致で採択しました。  
署名 6224 筆と 25 町内会長要請書を町長に提出しています。

「風力発電を考える当別町民の会」

連絡先 当別町北栄町 13-8 手代木 隆二  
TEL080-1975-4516 メール saiene@newrice.info

皆様の参加をお待ちしております。  
お問合せご連絡は、  
左記連絡先またはホームページから  
〇 協賛会などの情報も発信しています。



地域自然エネルギー利用デメリットは発電量の変動・発電コストの高さ・土地の必要性・環境への影響・騒音や振動等があります。各地で風力発電反対の声も上がっております。





**地域が主導すべき自然エネルギー利用についても又具体的には、木質バイオマスを燃料とする熱電併給装置による地産地消の可能性等・・・説明する山形先生**



真剣に聞いている受講者

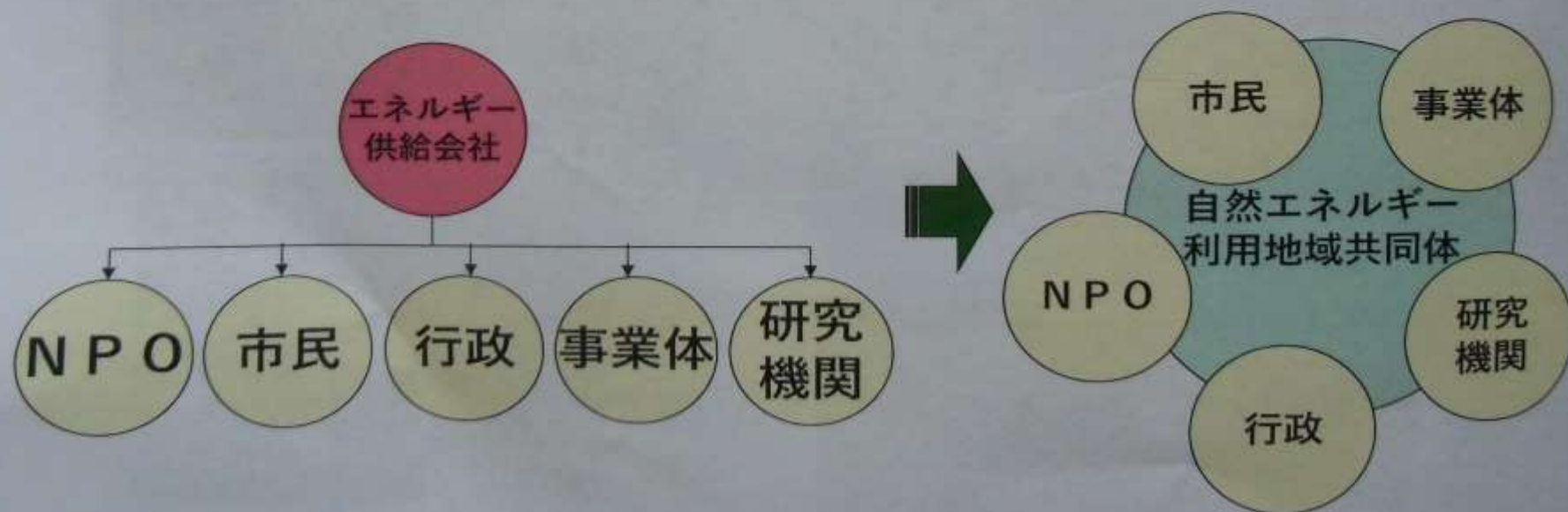




聴講する参加者

# 「地域の、地域による、地域のための」自然エネルギー

- 地域にある自然エネルギーを（＝地域の）
  - 地域の住民が自分たちの手で（＝地域による）
  - 地域住民が使うために（＝地域のための）
- 開発することがキーポイント



地域の自然エネルギーで地域経済が元気になる！



# 地域の、地域による、 地域のための 自然エネルギー開発

- 地域にある自然エネルギーを  
(=地域の)
  - 地域の住民が自分たちの手で  
(=地域による)
  - 地域住民が使うために  
(=地域のための)
- 開発する自然エネルギーでなければ！

地域を考える基礎

2013.5.14 Seminar

テーマ：再生可能エネルギー

国産の暮らしや経済を支えるエネルギーについて、その確保と効率的な利用が大きな課題です。特に、北海道は、種別多様な地域であるが故に化石燃料の多消費地ですが、一方で、太陽や風力、水力、バイオマスなど豊富な自然エネルギー資源を有しています。そこで、活用している再生可能エネルギー資源を利用し、北海道のエネルギー自給率を高めることを目指す。

講演 15:00～15:50

「地域の、地域による、地域のための  
自然エネルギー利用」

北海道大学大学院工学研究科  
NPO法人北海道新エネルギー

山形 定

事例紹介 16:00～17:20



●地熱発電 内山 洋次



●小水力発電 伊



●家畜バイオマスガス発電 吉田 弘志



●風力発電 岩谷

日時 / 平成25年 5月14日 火 15:00～17:20

会場 / 京王プラザホテル札幌 B1 プラザホール

札幌市中央区北5条西7丁目 ☎ 011-271-0111  
お問い合わせ / NPO法人北海道新エネルギー事務局  
☎ 011-736-1821

主催 / 特定非営利活動法人 北海道振興機構

後援 / 特定非営利活動法人 北海道新エネルギー普及促進協会 (NE)  
協賛 / 北海道公営企業振興協会

エネルギーの地域の、地域による、地域のための自然エネルギー開発を  
確立していくことが、理想的な将来像である。



真剣に聴く参加者





質問する参加者・解りやすく説明する山形先生

# 「今だけ、カネだけ、自分だけ」の打破



## 地域の、地域による、 地域のための 自然エネルギー開発

- ・ 地域にある自然エネルギーを  
（←地域の）
- ・ 地域の住民が自分たちの手で  
（←地域による）
- ・ 地域住民が使うために  
（←地域のための）  
開発する自然エネルギーでなければ！

**再生可能エネルギー**  
地域も考える基礎

10:00-15:00  
『地域の、地域による、地域のための  
自然エネルギー利用』 山形 定

5月14日 16:00-17:30  
『再生可能エネルギーの活用』 山形 定

山形県エネルギー政策課 主催  
山形県エネルギー政策課 共催

自然エネルギー開発に関連したカネによる支配・利権の構図について、今後注意深く見ていく必要があります。自然エネルギーの地産地消を確立して行く事が 理想的な将来像であると思います。自然エネルギーの開発には、地域の市民について正しい知識を持ち、自然への影響が少ない候補地を検討・選定することが重要で、自然エネルギーの開発が地域社会にとってより良いものになる事が期待されます。今日は、皆さん大変勉強になりました。

最後に山形先生に感謝の気持ちを込めて拍手をもって拍手をもって定刻に終了致しました。

# 令和5年度「はじめての歩くスキー」

## 1, 日時

- ①1回目: 1月6日 (土曜日)、 ②2回目: 1月13日(土曜日)  
③3回目: 1月20日(土曜日)、 ④4回目: 1月28日(日曜日)

## 2, 場所

- \* 受付: 東口休憩所  
\* 会場: つどいの森オーバルコース

## 3: 天候

- \* 1月 6日 (土) 曇 気温  $-2.0$  度, 雪温  $-2.0$  度, 積雪 15 cm  
\* 1月13日 (土) 晴 気温  $-2.0$  度, 雪温  $-3.0$  度, 積雪 50 cm  
\* 1月20日 (土) 曇 気温  $-8.0$  度, 雪温  $-7.0$  度, 積雪 79 cm  
\* 1月28日 (日) 晴 気温  $+1.1$  度, 雪温  $-2.0$  度, 積雪 101cm

## 4: 参加人員各定員20名

(各予約事前受付, 当日空きがあれば受付可)

- ・1回目: 1月 6日(土曜日) 参加者: 15名、(申し込みは13名)  
・2回目: 1月 13日(土曜日) 参加者: 9名、  
・3回目: 1月20日(土曜日) 参加者: 10名、  
・4回目: 1月28日(日曜日) 参加者: 14名、



## 5: 内容:

- 2023年12月23日より冬期および夏期における「**ロッジゆきざさ**」での軽食などの販売を終了。併せて、「**ロッジゆきざさ**」では歩くスキーのレンタルも終了しました。尚、ロッジゆきざさは夏期・冬期ともに休憩所として開放。溪流ゾーンでのレンタルスキーの終了により、今年度の「**初めての歩くスキー**」は「**つどいの森オーバーバルコース**」での開催となりました。
- 東口休憩所で9:30**受付開始**、10:00からの**座学講習会**は歩くスキーの用具走法、ワックス等基礎説明を行いました。その後、東口休憩所を出た屋外で集合写真を撮り、**準備体操**を行い、実技では協会講師が歩き方、滑り方、転んだ時の立ち上がり等の**デモンストレーション**含めて実施致しました。その後、五グループに分かれマンツーマンでスキー**装着・脱着**等を教えました。
- 各グループ事に**個別指導**を行った後、つどいの森オーバーバルコースで周回しながら指導しました。今年は積雪が少ないため、つどいの森オーバーバルコースと**3km エゾリスコース**のみの利用となっていました。参加者は**心地よい汗**を流し、スムーズに滑走する事が出来ました。  
11:50最初の場所に集合、**整理体操**を行い解散しました。
- 当講習会は第4回まであります。多数の方の参加をお待ちしております。申し込みについては滝野公園ホームページより前日までに申し込み下さい。  
なお、**当日空きがあれば当日参加も可能です。**



東口休憩所に皆さん笑顔で集まりました



# 座学講習：歩くスキーの始まり・歴史・楽しみ方等説明 ～1972年札幌オリンピックで誕生したスポーツ～







↳ 走法で用具が違うよ！  
ノーマックスとワックスタイプスキー



真剣に聴く・質問する受講者



第一回目開催記念写真：参加者15名 1月6日(土曜日)





準備体操



念入りに……



歩き方、滑り方、転んだ時の立ち上がり等の  
デモンストレーションです







悪戦苦闘・・・スキーが脱げました



個別指導する指導員



少しずつ上達・・・



コツを覚えて大変上手になりました



整理体操する参加者

終了後：整理体操を行い解散致しました



## 第二回目開催:1月13日(土曜日) 10時～

### \*内 容

当日の早朝に多くの降雪があり、第1回と比べ滑りやすいコンディションとなっていました。

6才から70代までの幅広い年齢層が参加され、かつ初めてスキーを経験する人やスケーティング走法を体験する人など、それぞれが「歩くスキー」を楽しんでおられました。

また、今回短い距離ではありましたが 深雪のコースを歩いたため、何度も転び起き上がるのに苦勞した人もおりましたが、基本を学んだことでゴール地点まで完走していました。なお、特別参加で滝野管理センターの職員1名も参加されました。



座学講習  
皆さん真剣です



第二回目開催記念写真：参加者9名 1月13日(土曜日)







歩き方①



歩き方②



実技・転び方



深雪に悪戦苦闘



初めての深雪に挑戦・・2人なら心強い





少しずつ上手に・・・



新雪にも慣れて・・・



新雪・深雪最高・・・





ついて来てるかな・・



ゴール地点では父親が待ってます



最後迄楽しみながら滑りました



父親と小学校一年生  
上手になり笑顔で記念写真

第三回目開催：1月20日（土曜日）

10時～12時

- 当日は、申込者が10名でしたが2名が欠席。当日申し込みが2名あり、当初の予定通り10名を講師5名が各2名を担当して個別指導いたしました。2回目同様、滑りやすいコンディションのもと楽しく歩くスキーを満喫しておりました。
- 滝野すずらん公園では、3km エゾリスコース、6km ノウサギコースの利用可能でしたが、今日から11km キタキツネコース、17km キツツキコースも 利用可能となりました。
- 参加者の一言

60代男性初めての挑戦でスキー一式購入しての参加でした。理由は「冬場は運動不足と購入する事で継続させる」との事です。色々スキーの知識と実技を教わりましたが、下り坂が難しかったです。交互の歩き方のコツ少し覚えめました。昼食後再度「教わった事にチャレンジ 致します」と笑顔でお話しておりました。





座学講習でスキーの基礎知識を学ぶ……



【3回目記念写真：参加者：10名】







準備体操と実技講習





親子での参加・・・



新雪の中をスキーで楽しむ参加者



楽しく講習を受けるご夫婦





下り坂で指導する・・・  
滑走する参加者



周回コースを滑走する母娘



大変上手になりました



少し疲れました・・・



最後に記念写真





疲れた体をほぐす整理体操をする参加者



定刻に終了致しました



## 第四回目(最終)開催:1月28日(日曜日)10時~12時

### \* 内 容:

早朝は曇っていましたが、開催時には晴れ渡りプラスの温度になり**絶好の天候**になりました。参加者は初めての人が殆どで、本州から観光に来た人、家族で参加したりして、心地よい汗を流しました。前半は四苦八苦でしたが後半に於いては皆さんコツを覚えて、大変上手になりました。

### ●参加者の一言:

#### \* 東京から来た御夫妻:

座学で知る事から始まり講習ではインストラクター方々が**懇切丁寧**に個人指導して頂き スキーの基本的技術を学ぶ事が出来、楽しかったです。

#### \* 関西から来た40代の女性:

同じ講習に参加した人と一緒に滑る事が出来、楽しいひと時を過ごせました。夕食は仲間と**北海道郷土料理**を飲食楽しみにしてま〜す!

#### \* 札幌北区の参加者:

美しい山々に囲まれた会場で初めは不安でしたが、徐々に自信を持って滑るようになり、とでも充実した時間を過ごす事が出来ました。講習後は意欲が高まり、今後も**歩くスキー**を続けたいと思います。



受付・参加者14名・座学講習



第四回目開催記念写真：参加者14名 1月28日(日曜日)







準備体操



歩き方①



歩き方②



転び方指導



スキーの着装指導：



着装に挑戦



スキーは初めて・・・





悪戦苦闘の連続・・・



スキーの感をつかみました・・・





大変上手になりました



景色を見ながら・・・



少し汗ばんできました・・・



天気も良く参加して満足しています！



全員定刻に集合・・・



整理体操



雪と戯れる子供・・・



解散・・・